

困ってまんねん！！

八尾の交通

八尾市では、交通問題の現状を皆さんに知っていただき、
問題解決に向けた住民 - 行政の協働関係の構築を行うことにより、
「誰もが出歩くのが楽しくなるまち」の実現すべく

八尾市交通基本計画 を策定いたしました。

普段の生活の中で、

「あの車ものすごいスピードだして怖いなあ！」

「この自転車こんなとこ停めて邪魔やなあ！」

「交通渋滞ひどすぎて車乗ってる意味あれへん！」

とお感じになったことはないですか？

少しでも感じたことのあるあなた！

問題解決に向けて一緒に考え、行動してみませんか？

なんかできること
あるやろか？

他の誰かにやさしい交通
車のかしこい使い方

なんとか
せなあかん！！

みんなで
かんがえよ！！

みんなで考える八尾の交通まちづくり

八尾市

こんなにある！八尾の交通問題

現在、八尾市内では主に以下のような交通問題が発生しています。

超高齢社会の到来 ~ 5人に1人が高齢者 急速にすすむ高齢化

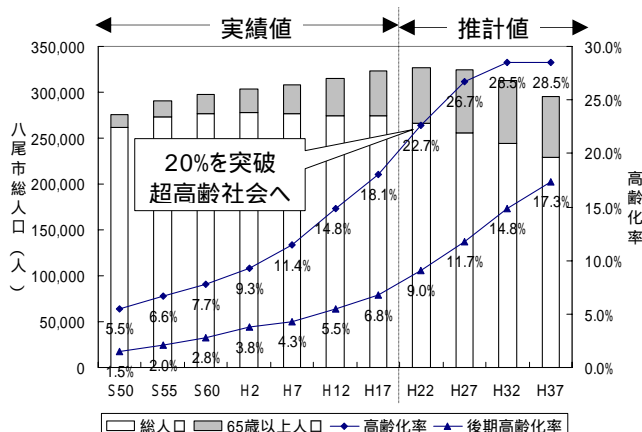
現状は・・・

- ・平成 17 年度末現在、高齢化率 18.1%
- ・平成 22 年には高齢化率が 20%を突破(推計)。
5 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者という超高齢社会へ
- ・平成 37 年には後期高齢化率が 17.3%と予測され、
6 人に 1 人が 75 歳以上の高齢者に

このような問題につながります・・・

交通事故の発生

バリアフリー化が進んでいないエリアでの移動困難 / など



《八尾市における年齢別人口の推移》

公共交通利用率の低下 ~ バスがなくなる！ 公共交通存続の危機

現状は・・・

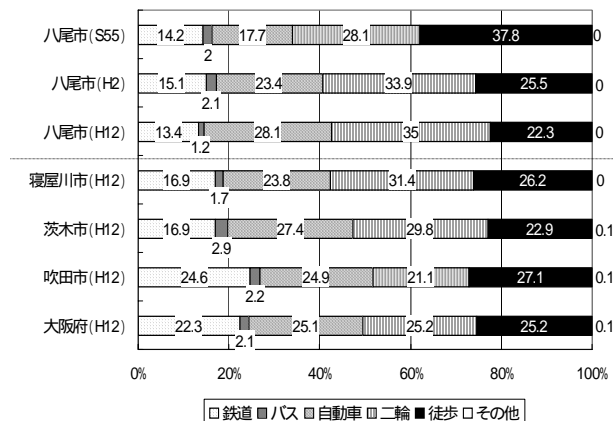
- ・八尾市は大阪府平均に比べて、公共交通利用率が低い。
(公共交通利用率 14.6%(平成 12 年)、府平均 24.4%(同年))
- ・逆に、各個人が動きやすい(モビリティの高い)
二輪・自動車利用率が高い。
(二輪・自動車利用率 63.1%(平成 12 年)、府平均 50.3%(同年))

このような問題につながります・・・

交通渋滞、環境汚染の悪化

交通事故の発生

公共バス事業への赤字補填による行財政の悪化 / など



《八尾市における移動時の利用交通手段の割合》

交通渋滞、大気汚染 ~ 車への過度の依存 慢性的な交通渋滞 危険なまちなか

現状は・・・

- ・市内における交通渋滞が慢性化し、
幹線道路沿いの環境が悪化。
- ・運輸部門の二酸化炭素排出量の約半分は、
自家用車から排出されている。

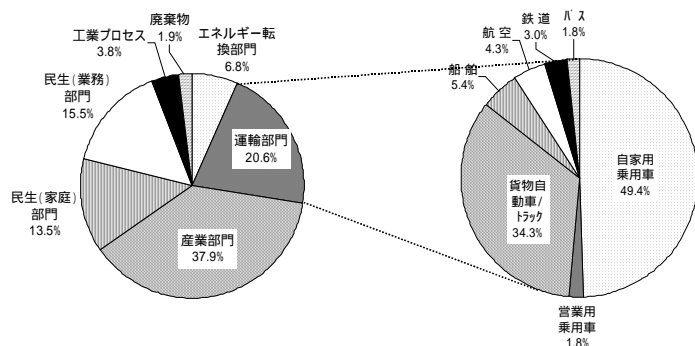
このような問題につながります・・・

交通事故の発生

歩行者環境の悪化

公共交通車両の定時性低下(時間通りに来ない)

/ など



《日本の部門別二酸化炭素排出量の割合(2003年)》



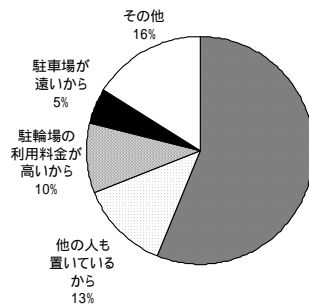
えらいことになってるなあ。
みんなで自動車の使い方
考えてもらいたいなあ。



放置自転車、違法・めいわく駐車 ~ ちょっとだけ 私の便利が みんなの迷惑

現状は・・・

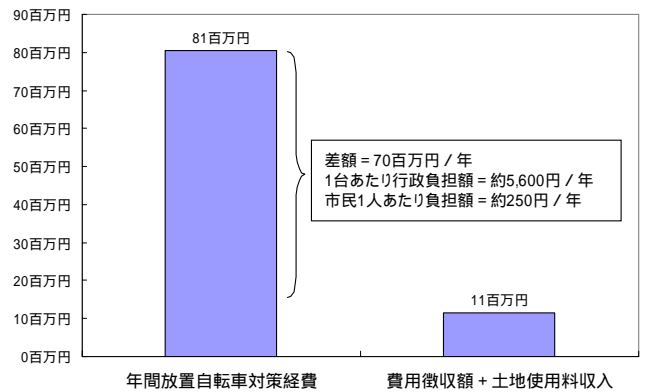
- ・「少しの時間だけなら・・・」、「他の人もおいているし・・・」といった理由で、軽はずみに自転車が放置されている。
- ・放置自転車移動のために年間約 7,000 万円の税金が使われている。



このような問題につながります・・・

- 歩行者通行の妨害
- 公共空間マナー意識レベルの低下
- 交通事故の発生(死角の増加)
- 救急・消防活動の妨げ

悪気はなくても
他の人の迷惑に
なってるんやな



《放置自転車撤去にかかる行政コストと返還費用徴収額の比較》

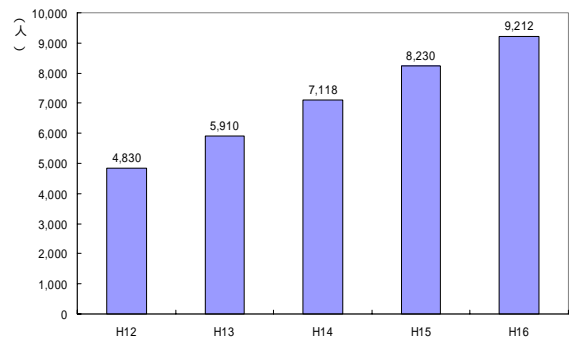
バリアフリー化への対応 ~ 誰もが楽しく移動できる社会に

現状は・・・

- ・移動制約者人口が増加傾向(平成 16 年時点身体障害者手帳等所持者数 12,806 人(市人口約 5%)。)
- ・まちなか環境におけるバリアフリー化が課題。

このような問題につながります・・・

- 交通事故の発生
- バリアフリー化が進んでいないエリアでの移動困難



《要介護認定者数の推移》

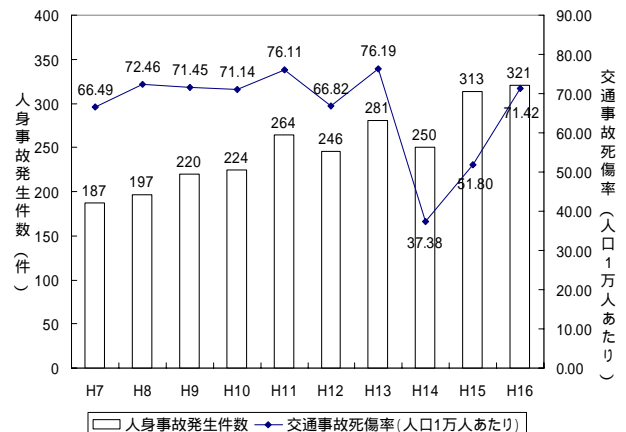
狭い歩道、歩行者に危険な道 ~ 限られた空間の自己中心的な利用が危険

現状は・・・

- ・狭い道路が多く歩道確保が困難。
- ・高齢化に伴い、高齢者人身事故件数が増加傾向(平成 16 年中約 300 件)。

このような問題につながります・・・

- 交通事故の発生
- 歩行者環境の悪化




《高齢者(65歳以上)の人身事故発生件数の推移》

ざっくばらんな意見交換の場


交通まちづくり懇談会(市全体)

- 交通に関する自由な意見交換を定期的
に開催(市全域版まちづくりラウンドテ
ーブルのイメージ)
- 意見交換(課題共有、各地区活動の紹介
など)を通じた、新しい活動連携のきっ
かけづくり



まちづくりラウンドテーブルによる地元協議(各地域ごと)

- 小学校区単位で、さまざまな立場の人が定期的
に集まって話し合う場、地域の問題や課題解決のための地域資源
(人・もの・情報など)を探す場として開催される。
- 行政主導ではなく地元発意による立上げを行うことが、前
提となる。



交通まちづくりに関する
定期的な意見交換

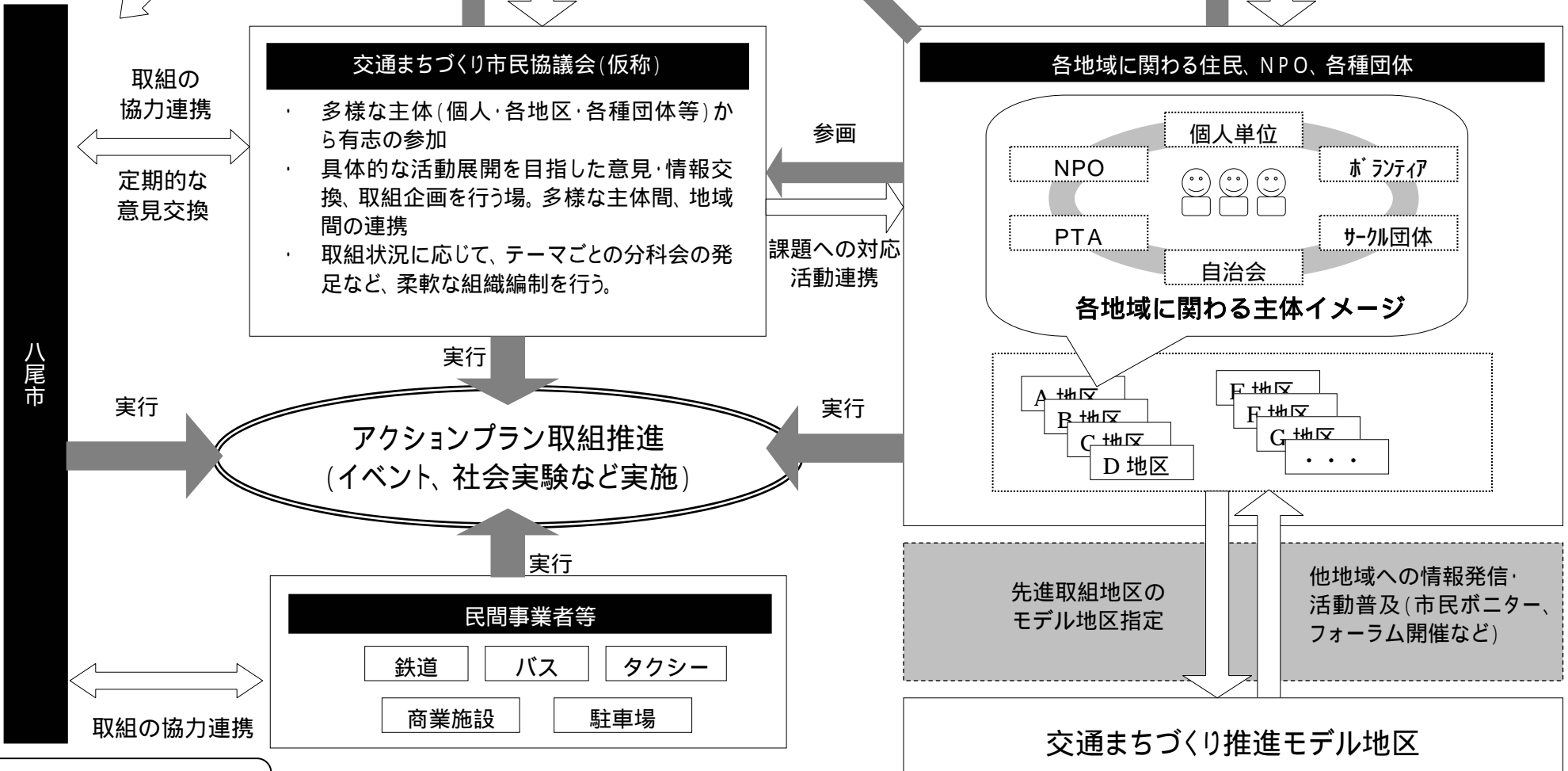
参画

課題の把握
活動連携のきっかけ

参画(公募、
市政モニター制度など)

参画

地域課題の把握
活動連携のきっかけ



《地域に関わる各種団体の活動》



《アクションプラン取組推進
(歩いて楽しいまちなみ整備など)》

アクションプランの実行部隊

交通まちづくり推進のためのしくみのイメージ

私たちの活動も
活かせるかも

市民の皆さんのまちづくりへの参画の必要性 ~ 要望型から協働型へ

とりあえず
行ってみよう!

交通問題の解決には、市民1人ひとりの意識転換が必要不可欠

交通プロジェクトその1～交通まちづくり教育プログラム

個人の移動しやすさ、快適さを追及する「利己的な交通手段選択」により生じる交通渋滞、環境汚染等の問題を解消するために、道路利用者 1人ひとりへの教育・啓発方法を工夫し、他人・周辺環境へ配慮した公共空間の利用マナーの向上を目指します。

例)

モビリティ・マネジメント(MM)による自発的变化・啓発

- ・ 学校での総合学習等と連携した地域の交通問題の現状について学習
- ・ 実験・体験学習・コミュニケーションによる教育プログラムの開発
- ・ **困っている立場の方々とのコミュニケーション機会の創出、実態体験**
- ・ 困っている立場の方々が教育・啓発活動の場に訪れ、コミュニケーション機会を創出
- ・ **地域単位による交通まちづくり学習活動の実施**
- ・ 行政職員・警察職員による出前講座・飛び込み講座



写真：「ちゃりんこバスターズ」による
放置自転車対策・普及活動の様子

交通プロジェクトその2～公共交通の利用促進・システム改善

自家用車から公共交通機関(鉄道・バス等)への利用転換を促し、公共交通利用率の向上を目指す必要があります。

例)

公共交通機関事業者と利用者側の継続的な協議の場の創出

- ・ 公共交通機関に対する一方的なサービス改善要望だけではなく、利用者も参画する協働・コミュニケーション型での協議の場を設置
- ・ **公共交通利用者確保の工夫**
- ・ バス等のプレクーポン券の地域単位購入による利用者確保
- ・ 商業施設と連携した公共交通利用者への割引制度
- ・ **公共交通利用促進イベント**
- ・ 鉄道・バスフェスティバル、ベロタクシー試乗イベント等の開催



写真：市内を走るコミュニティバス

交通プロジェクトその3～駅周辺の公共交通優先化、自動車進入の整流化

最も交通集中の起こりやすい市内主要駅周辺部については、車がスムーズに流れるように、自動車進入の整流化を行い、歩行者と公共交通機関利用者が安心して通行できる環境づくりを行います。

例)

主要駅周辺の公共交通優先化(トランジットモール化)

- ・ 歩行者と公共交通機関利用者が安心して通行できる環境づくり
- ・ 事業者との協働による社会実験の実施
- ・ **商業施設駐車場利用によるパークアンドライド(自動車から公共交通へ)**
- ・ 公共交通への乗換誘導による中心市街地の自動車アクセス集中の低減
- ・ 商業施設と連携したパークアンドライドに対する割引制度
- ・ **物流システムの共同化(荷さばき対策)**
- ・ 商店街の荷さばきスペースの共同化
- ・ 共同荷さばきタイムシェアリング(時間帯を区分した荷さばき)の実施



写真：パークアンドライドのイメージ
(フライブルグ市(ドイツ)ホームページ)

交通プロジェクトその4～新交通システムの導入・普及

超高齢社会への対応のため、これまでの公共交通を補完する新たなシステム(地域での助け合いをもとにしたシステム、自転車と自家用車の間の中間的な移動手段等)の導入・普及を目指します。

例)

地域住民の共助移送システムの導入・普及

- ・ 高齢者や障害者など移動に不自由な人たちを、地域で支え合う共助移送システム(コミュニティ・タクシー、カーシェア(乗合利用))等のしくみの検討
- ・ **ベロタクシーの導入・普及、新交通システムの開発**
- ・ 公的機関、市内事業者の連携による業務利用、生活道路における補完交通
- ・ 「八尾版ベロタクシー」開発による交通まちづくり取組の情報発信・宣伝



写真：ベロタクシー導入のイメージ
(NPO 沖縄のホームページより)

交通プロジェクトその5 ~ 自転車利用アクセスの向上、自転車車両の有効活用

自転車利用の快適性を高め、市内移動の交通手段を自動車から自転車利用への転換を図り、交通渋滞、大気汚染等の問題の軽減を目指します。

例)

自転車利用環境の整備

- ・ 歩道・自転車道の整備(シンボルロード、サイクルロードの整備)
- ・ 利用しやすい駐輪場の整備

レンタサイクルシステムの構築

- ・ 利用者ニーズを反映した、使ってもらえるレンタサイクルシステムの構築
- ・ レンタサイクル利用の積極的な情報発信「所有から利用」への意識転換

サイクルシェアシステムの構築(自転車の乗合利用)

- ・ 地域単位やマンション単位でのサイクルシェアの試験的運用(社会実験)
- ・ サイクルシェア利用の積極的な情報発信



写真：八尾シティネットの
レンタサイクル事業

交通プロジェクトその6 ~ あんしん生活エリア(生活道路環境改善)の構築

日常生活に身近な生活道路空間における快適性・安全性を高め、歩行者・自転車優先の環境を整備します。

例)

地域ヒヤリハットマップの作成

- ・ 地域の生活道路における問題箇所を整理、問題意識の共有化
- ・ 地元住民による「まち歩き交通点検」の実施
- ・ 「地域ヒヤリハットマップ」の作成による地域交通問題のマップ化

あんしん生活エリアの設定・取組実施

- ・ 歩行者安全性の向上のための線的・面的な対策(重点整備路線の設定、ゾーニングによる規制・環境整備等)の検討
- ・ 社会実験の実施等による事前の住民調整・規制の効果検証



写真：まち歩き交通点検のイメージ

交通プロジェクトその7 ~ 歩いて楽しいまちなみづくり

目標実現のための他の取組と連動しつつ、思わず出歩きたくなるような「歩いて楽しい」まちなみ創出のため、景観保全・賑わい形成を目指します。

例)

まち歩きイベントの開催等による賑わい形成

- ・ まち歩きイベントの開催(八尾まちなかウォークラリーなど)
- ・ 各交通プロジェクトの社会実験等の同時開催による市域イベント会場化

美しいまちなみの形成

- ・ イベントや地域活動等との連携
- ・ 緑化、夜間のライトアップ、歴史的景観の保全、屋外広告物の規制等



写真：夜間ライトアップのイメージ
(三条あかり景色 2005 ホームページより)

けっこう
おもしろそうやな



こんど、市に
電話して
聞いてみよう

今後の取組について

平成 18 年度の取組目標

市民キーパーソンの発掘（平成 18 年度の主目標） モデル地区創造のきっかけ
交通まちづくりに関する情報を市民に積極的に情報発信

交通まちづくりに関する情報発信、市民キーパーソンの発掘

従来媒体による情報発信だけでなく、交通まちづくり講座の開催や地元協議（まちづくりラウンドテーブル開催呼びかけ）の設定等により、交通まちづくりの情報発信を行います。情報発信や地元協議の開催を通じて、各地域の市民キーパーソンの発掘、協働関係の構築を図ります。

市広報、ホームページ、コミュニティ FM ちやお等の従来媒体での情報発信

交通まちづくり講座の開催

各種団体（ボランティア・NPO 団体、サークル活動等）への飛び込み講座（会合へのゲスト参加）
ラウンドテーブル開催の呼びかけ

公募・市政モニター制度の活用による参画呼びかけ

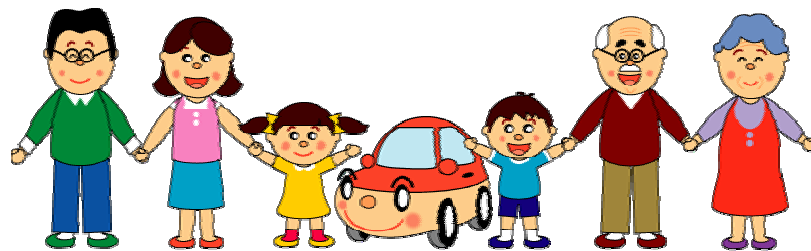
交通まちづくり懇談会の立上げ、定期的な開催

八尾市交通問題に対するざっくばらんな意見交換の場として「交通まちづくり懇談会」を立ち上げます。地域の交通問題の共有だけでなく、現在取組まれている市民や地域の活動内容の報告、行政側の交通まちづくり推進状況報告など情報交換の場として、定期的な開催を目指します。

八尾市交通まちづくりシンポジウムの開催

八尾市交通基本計画を広く市民に紹介する事を目的として、「八尾市交通まちづくりシンポジウム（仮称）」を開催します。

自分のためだけでなく、他の誰かのため
現在の自分だけでなく、将来のじぶんのために
誰もが出歩くのが楽しくなるまちを目指して一緒に考えませんか？



ご質問・ご興味・関心のある方は是非お気軽にご連絡ください。

八尾市

〒581-0003 大阪府八尾市本町1丁目1番1号 八尾市 建築都市部 交通対策課

Tel : 072-924-3856 (平成 18 年 5 月 28 日から)

Fax : 072-924-0207 (平成 18 年 5 月 28 日から)

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp>

E-mail koutuu@city.yao.osaka.jp

平成 18 年 3 月発行 刊行物番号 H17 - 162

R100
当館パルプ配合率100%再生紙を使用